きみがいて
たのしく遊び
かたりあい
たのしく学ぶ

北方小学校だより

市川市立北方小学校
令和８年７月１７日
夏休み号　文責
校長　大津　幸夫

チャレンジする夏休みに！

猛暑と梅雨空が入れ替わるように続く中、令和8年度の１学期が無事に終了しました。今年度は昨年度ほど高温の日は多くなかったものの、熱中症予防に十分留意しながらの学校生活となりました。保護者や地域の皆様のご協力のおかげで、子どもたちは元気に夏休みを迎えることができました。

この１学期、運動会をはじめとする学校行事、学年活動、縦割り活動、そして日々の授業を通して、すべての学年の子どもたちが着実に成長しました。4月には新しい学年・学級に緊張した面持ちで臨んでいた子どもたちも、今では友達や上級生・下級生との新たなつながりを築き、本校における自分の学年の役割を果たそうとする姿が見られます。「なかよし活動」では、6年生を中心にどの児童も協力的に取り組み、楽しみながら活動することができました。また、「なかよし清掃」では兄弟学級の児童同士が力を合わせ、広い校内をみんなできれいにすることができました。

さて、明日から始まる45日間の夏休みは、子どもたちにとって「チャレンジする夏休み」にしてほしいと願っています。たっぷりある時間を有効に使い、日頃できないことや興味・関心のあることに思いきり挑戦し、自分の可能性を広げてほしいと考えています。

夏休み期間中には、さまざまなコンクールや体験活動が行われます。絵画、ポスター、写真、作文、感想文、エッセイ、科学分野など、驚くほど多岐にわたる募集があり、また、大学のキャンパスや市の生涯学習センターではスポーツ教室や科学教室など多様なイベントが開催されます。学校でもそれらの情報を取りまとめて紹介していますので、ぜひ関心のあることにチャレンジし、自分の力を試してみてください。

特に「言葉の力」を育む取り組みとして、低学年や中学年では、「てのひら文庫賞読書感想文」や「青少年読書感想文全国コンクール（課題図書部門・自由図書部門）」、高学年では「読書推薦文コンクール」や「新聞感想文」などへの応募に挑戦してみるのはいかがでしょうか。挑戦する機会は誰にでも平等にあります。そして、チャレンジしようとする気持ちが大きいほど、可能性はさらに広がります。

この夏休み、子どもたちには学校から地域、そして社会へと視野を広げ、多様な体験を通して自分を成長させる「夏」を過ごしてほしいと思います。